

KSKS GARDENの記録
依存症回復のエキスパート ワンネスグループ会報誌

～自分を好きになることから
始めよう～

Oneness Mind vol.4

ワンネスマインド

薬物、キャンブル、アルコール依存症回復のエキスパート
ONENESS GROUP
ワンネスグループ

依存症でお困りならご相談ください。(受付時間10:00～17:00)

依存症相談ダイヤル

☎0120-111-351

依存で困ったらワンネス 検索

依存症SOS相談メール:sos@oneness-g.com

依存症の回復から専門職への道を目指して!

●アディクションカウンセリング専門職化のトレーニングを実施

春風駘蕩(しゅんぷうたいとう)、ようやく気候も緩み心がやさしくほぐれやすい季節になってきました。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。ワンネスグループは今、依存症回復コミュニティへの貢献という、我々の信仰にも近い理念を胸に、落ち着いた気持ちで、情熱とともに、静かに軽やかに、そして謙虚に歩みを進めています。

去る3月23日(月)から27日(金)まで、ワンネスグループの本部である奈良のセレンティパークジャパンにおいて、私が理事を務めるICCE(国際アディクションカウンセリング専門職認定教育センター)認定コースの講座を持ちました。トレーニング・エグゼクティブのスシュミタ・バナジー女史を筆頭に、インドネシアのアーマッド氏とフィリピンのテレシタ女史&エディー・カスティーヨ氏の4名が来日されました。(詳しくは中面で報告させていただきます)

●リカバリーコーチトレーニングを通して

今回行われたリカバリーコーチトレーニングは、アメリカに端を発して、近年、世界中に広まってきている新しい職種のトレーニングです。現在の潮流では、入所施設での短期集中型の治療から、自助グループを含めた様々な地域の資源を生かした長期的な回復支援を目指す枠組みへとシフトしています。この資格は当事者の傍らにいて、日々の生活や回復の取り組みにアドバイスやガイドランスを提供し、カウンセラーやセラピスト

といった心理療法の専門家や、弁護士・医師などの専門職との橋渡しを行うサポーターの役を担います。5日間の講座では、多様なリカバリーの役割、長期的な回復のシステムという理念と具体化、専門職としての倫理観、クライアントに巻き込まれすぎないようにするための健康的な人間関係の築き方、地域の資本・資源や家族の協力をどう掘り当て活用するかなどを学びました。

●ワンネススタッフは私の宝であることを実感しました

回復支援の様々な要素を網羅した濃い内容でしたが、受講者は気持ちを切らさず5日間のトレーニングを終えました。終了後の彼らの雰囲気は、輝きまぶしい存在に変容を遂げていました。まだいくつものトレーニングパッケージと時間が残っていますが、このライセンスは米国の法制度に則ったものですので、米国の依存症治療施設で勤務することもできます。ワンネスは回復者の専門職化をどんどん進めていきます。まだまだコースは続きますが、彼らは日本の依存症治療を背負っていく宝です。ワンネスのスタッフ30名が参加したコースは、残念ながら規定があるのでクライアントは参加していません。そして、元々はワンネスのクライアントとしてつながってきた彼らがここまで成長できたのは、彼らの努力もさることながら、皆様からのご支援の賜物です。参加中の質疑や活発な意見交換の内容を聞きながら、彼らは群を抜いていることを実感しました。これまで専門職化の大切さを訴え、苦勞して海外から講師を呼び続けた甲斐がありま

す。これまでも大変な労力でしたが、これからのワンネスの方向性に確信を持ちました。30名以上のスタッフがいるワンネス…。まさに生き証人としてプログラムの効果が示されています。

●希望のない依存症に希望の光を灯して

依存症とはなんでしょう? 身体や精神的な痛みもさることながら、自分で自分を傷つけることを止めることができない緩慢な自殺行為です。依存症に苦しんでいる時、そこにあるのは希望の欠如です。絶望に塗り固められた自分です。彼らにとって回復者は希望です。今回のトレーニングを通して、私たちの10年の活動を経て、ワンネスには確固たる回復の希望があることを実感しました。また、専門職化を目指すことで、愛だけではどうにもできない依存症に立ち向かう力を身につけているとも実感しました。回復を果たしたワンネススタッフをこれからも温かい目で見守っていただければと思います。

●財団法人としての新たな広がりを目指して

また、ワンネスグループは財団法人への移行を進めておりましたが、3月23日をもって、手続きが完了いたしました。今後はさらなる可能性を視座に、準備を整えてまいります。改めての深謝とともに、今後とも一層のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

2015年5月
一般財団法人 ワンネスグループ
代表理事 矢澤祐史

座長 矢澤祐史の ありのまま、 心のまま vol.4

ワンネスグループ代表の矢澤が、ふと感じた思いをつづっています。皆さまの気持ちがニュートラルになりますように…。

皆さんはご自身の命を何に使っていますか? 私自身は依存症で一度死にかけたことがあるからでしょうか、今生を精一杯に体験し、命は使い切るものであるという価値観を持っています。そして、私は結構よく悩みます。怖れです。そういった表面的な考えに生きているのではなく、もっともっと深い自分の意図と繋がる時間を持つことが大事であると思っています。どんな人でも、あらゆる文脈において人間は陰と陽を持ち合わせているようです。どちらか一方になることはありません。さらには、陰と陽があって「一つで在る」ということに到達したことは自分にとって大切な悩みの時間でした。深く探究する旅のような時間、それは静かで動かぬ大切な自分の中心の一点を求める大切な作業。主体となる魂の発する声にたどり着くまでの道のりは容易ではありません。自分の才能を使いきれない時間があることを残念に、ときに恥ずかしく思うことがあります。僕はこの命を、いったい何のために使っているのかについて考える時間がどうしたて必要です。矢澤にとっての人生とは「体験」です。痛いことも楽しいことも、両方ともに体験しましょう。



そして、ご報告が遅れましたが、私たち夫婦に赤ちゃんが産まれました。元気な女の子です。大地にそびえる樹木の樹、そして感謝しても仕切れない奈良県の奈をとって樹奈(じゅな)と名付けました。親であれば子どもには立派な精神や健康を手にしてほしいと思います。しかし、自分自身の意識が崇高でなければ、何を伝えることができるのでしょうか。

～ONENESS GROUPにご支援を～

平素はワンネスグループの活動に、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。皆さまの温かなご支援は、私たちの活動の励みです。今後ともよろしくお願いたします。

【献金して下さった方(五十音順)】

青木みどり様/阿部美喜子様/医療法人梨香会秋元病院様/柴林ヒサ子様/おおし心身クリニック 中井宏子様/カトリック御所教会様/カトリック富雄教会様/カトリック大和高田教会様/カトリック大和八木教会様/鈴木優子様/谷岡一郎様/奈良総合法律事務所 内橋裕和様/奈良総合法律事務所 荒木秀夫様/奈良総合法律事務所 倉橋聡至様/奈良総合法律事務所 東穂忠幸様/なら法律事務所 朝守彦彦様/西大和カトリックセンター様/日本キリスト教団奈良教会様/廣井正伸様/廣田美知子様/弁護士宮坂行様/村西黄宝様/安里春美様/横田誠様…その他匿名の方

【献品して下さった方(五十音順)】

奈良文化高等学校教諭 長峯寿次様/(株)マイルストーンデザイン様/(有)ユーミンプロードシステムズ取締役副社長 弓香楠様…その他匿名の方

ご協力誠にありがとうございます。一同、厚くお礼申し上げます。(4月3日分まで掲載)

★献金はこちらへお願いいたします★

ゆうちょ銀行 店名四五八 店番)458
普通口座)0387467
口座名)ワンネスグループ依存症関連問題基金

●「GARDENを支える会」事務局/高嶋昌司

この小文を書いている頃、奈良地方は東大寺の「お水取り」行事の真っ最中、これが終わるとやがて間もなく、大和盆地の中西部に位置する大和高田市内を南北に流れる高田川の千本桜の開花がはじまり、程近いところにあるワンネスグループの本部から近場では花見を楽しむことができ、その後は新緑の季節を迎えます。

今年は戦後70年。戦時中、軍部や需要工場で中樞神経を興奮させることから睡眠防止薬として用いられたヒロポン(のちに覚醒剤に指定)が戦後の市場に放出され、覚醒剤などの大衆化が始まったと聞かされてきました。今、ワンネスグループは依存症からの回復に「心・身・精神性」の全人格的な回復成長という理念に基づいた依存症治療に取り組んでいます。その活動を支えていただいている皆様に感謝申し上げます。

【編集人】

Healing Garden Care Center 代表:矢澤祐史
〒635-0065 奈良県大和高田市東中2-10-18
TEL0745-22-0207 e-mail:info@garden-ag.org

GARDENを支える会事務局

〒635-0092 奈良県大和高田市大中南町26-11
<カトリック大和高田教会内>TEL0745-52-2415

【発行人】

関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階
定価:100円

イベント情報

【すべてのお問合せ・お申込み】
TEL0745-24-7766(ワンネスグループ本部) / http://oneness-g.com

ワンネスグループでは全国各地で依存症に関するイベントを行っています。詳しくは各イベントのチラシ、またはワンネスグループのホームページをご覧ください。スタッフ一同お待ちしております! ぜひお近くの会場へお出かけください!

★依存症を知るセミナー東北キャラバン★

【新潟・新潟市】5月31日(日)13:30~16:00
朱鷺メッセ中会議室201(新潟市中央区万代島6-1)
講師:加藤佳彦氏(医学博士/かとう心療内科クリニック院長)
月乃光司氏(作家/こわれ者の祭典代表)

参加費:1000円

★依存症回復セミナー★

【愛知・名古屋市】5月22日(金)18:30~20:30
名古屋市中小企業振興会館第4会議室
(名古屋千種区吹上2-6-3)
【岐阜・岐阜市】5月28日(木)18:30~20:30
岐阜市文化センター第2会議室(岐阜市金町5-7-2)

★ワンネスファミリーグループセミナー★

臨床心理士加藤力がサポートする家族のためのセミナー
青森スタート記念セミナー

【青森・青森市】5月10日(日)10:00~16:00
青森県民福祉プラザ(青森市中央3-20-30)
講師:加藤力(ワンネスグループ本部/臨床心理士) 参加費:2000円

5月よりリニューアル!

1) 東京会場 ※会場と時間を変更しています
5月16日(土)、6月13日(土)、7月25日(土)、8月15日(土)
13:30~17:00
フォーラムミカサエコ8階ホール(千代田区内神田1-18-12)

新たにスタート!

2) 横浜会場 5月17日(日)、6月28日(日)13:30~17:00
男女共同参画センターフォーラム南太田
横浜市南区南太田1-7-20)
参加費:2人での参加まで3000円、3名(家族など)以上で参加5000円
※両会場ともに同じ

★フラワーガーデン1周年記念フォーラム★

【大阪・大阪市】6月27日(土)13:30~16:30(予定)
大阪市立総合生涯学習センター5階研修室
(大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル)

★依存症回復セミナー★の続き

【三重・四日市市】6月12日(金)18:30~20:30
三重北勢地域地産産業振興センター研修室2(四日市市安島1-3-18)

【大阪・大阪市】5月13日(水)18:30~20:30
エル・おおさか(大阪府立労働センター)
(大阪市中央区北浜東3-14) ※主に行政、医療・福祉の現場担当の方向け

【京都・京都市】6月20日(土)13:30~16:30
京都社会福祉会館第1会議室(京都市上京区堀川通丸太町下る)

【兵庫・神戸市】5月23日(土)13:30~16:30
兵庫県中央労働センター201室(神戸市中央区下山手通6-3-28)

【沖縄・那覇市】5月6日(水・祝)、6月20日(土)、7月18日(土)、
8月15日(土)17:30~20:00
沖縄県男女共同参画センター(那覇市西3-11-1)

★依存症家族の会ワンネスファミリーグループ★

【東京・江東区】原則毎週水曜13:30~17:00
NPO法人セルフ・サポート研究所
(東京都江東区亀戸3-6-1-22 2階)
※臨床心理士加藤力先生がサポートします

【青森・青森市】5月16日(土)17:00~18:30(個別相談会)
/19:00~20:00(セミナー)
青森県民福祉プラザ(青森市中央3-20-30)

【奈良・大和高田市】毎月第2土曜14:00~16:00
セレンティパークジャパン(大和高田市東中2-10-18)

【大阪・大阪市】毎週月曜19:00~20:00 ※祝日の場合は休み
/20:00~21:00(相談会)
阿倍野市民学習センター3階
(大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300)

【三重・津市】毎月第3日曜日14:00~16:00
三重県教育文化会館第1会議室
(三重県津市桜橋2-142)

【和歌山・和歌山市】毎月第3金曜日19:00~20:30
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9階会議室B
(和歌山市手平2-1-2)

【沖縄・那覇市】5月23日(土)、6月6日(土)、7月4日(土)
19:00~20:30
セレンティパークジャパン沖縄
(那覇市東町4-12 8階)

取材のお問合せ・お申込み/ワンネスグループ本部(担当:村田) TEL0745-24-7766

ONENESS GROUP
ワンネスグループ

ワンネスグループのエネルギーは、今、全国に広がっています。



一般社団法人 GARDEN
(奈良・大阪・沖縄・セブ島)
薬物・アルコール・キャンブル
などの依存症治療施設



ファミリーインテベンションセンター
(札幌・仙台・東京・名古屋・京都・大阪奈良・広島・福岡・沖縄)
本人を説得し治療へ繋げるサポート。
依存症家族のための相談窓口



一般社団法人 セレニティ
パークジャパン (奈良・名古屋)
アルコール・キャンブルなどの
依存症治療施設



一般社団法人 セレニティパークジャパン 沖縄
アルコール・キャンブルなどの
依存症治療施設



ガーデンセブマクタンアイランド
留學型のアルコール・
キャンブル依存症治療施設



Flower Garden
フラワーガーデン
女性専用のアルコール・キャンブルなどの
依存症治療施設

Topics①
イベントレポート
3月23日~27日
in 奈良

【コロンボプラン】

ICCE(国際アディクションカウンセリング 専門職認定教育センター)リカバリーコーチ トレーニングが行われました。

専門職としての新たな第一歩を

ワンネスグループは設立より10年を迎えますが、早くより、依存症からの回復者が支援の側に立って、クライアントをサポートする体制を大切にしてきました。またそれは回復者が専門職として、新たな自分の道を歩んでいく体制を整えることでもありました。「マイナス10からプラス10へ」はワンネスグループのモットーです。依存症に苦しんでいる状態をマイナス10とするなら、病気から回復した状態がゼロ、そして新たに自分の道をその人らしい生き方で確立する姿がプラス10とイメージしています。10年の取り組みの中で、とくに専門職への道を作ることに励んだ結果、国際的な依存症カウンセラーの資格取得に向けたワンネススタッフのチャレンジを今年からスタートすることができました。その第一歩として今回、3月23日~27日の5日間、コロンボプランICCE(国際アディクションカウンセリング専門職認定教育センター)リカバリーコーチトレーニングが行われ、約30名の当グループスタッフや他施設のスタッフが参加して学びました。「プラス10」としてそれぞれが輝くために、真摯に取り組む姿は頼もしく、自分を取り戻し、自分自身をクリエイティブする道を楽しむ自信が感じられました。その様子をご報告いたします。



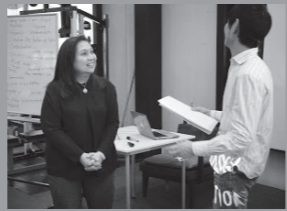
ICCEの素晴らしいトレーナーを迎えて



今回はICCEより4名のトレーナーが来日されました。コロンボプランICCEトレーニング部長のスシュミタ・バナジーさん、ICCEトレーナーのアーマッドさん、エディー・カスティエーヨさん、テレシタ・カスティエーヨさんです。それぞれに国際依存症カウンセラーとして活躍されている方ばかり。日本までお越しいただいて、トレーニングを実施して下さったことに感謝申し上げます。ICCEの関係者の方は、誰もがオープンマインドでいつも笑顔、そしてエネルギッシュです。その温かみで大きなエネルギーで相手を認め、共感し、受け入れてくれます。こういった方のエネルギーに直接触れることで、学ぶ者は自分のなりたい姿を明確にイメージし、確かな歩みを進めていけるのだと感じさせられました。

リカバリーコーチとは？

今回のトレーニングではICCEリカバリーコーチプログラムに沿った内容が提供されました。リカバリーコーチとは、依存症からの回復を目指す人のそばで話を聞き、気持ちに寄りそいながら、生活の中で相談役として支援する役。ICCEが認定するカウンセラー資格の入口(リカバリーコーチの資格を取得後、カウンセラー初級、上級へ進むことが可能)になります。また今回のようなトレーニングをもう一度受講した後、リカバリーコーチ認定試験を受験できるようになります。更なる依存症対策が求められている日本において、先進国と同じレベルの資格を取得することで、今後、活躍の幅が広がることが期待できますし、回復者から専門職を目指す当グループでのモデルケースになってくれるでしょう。



積極的な取り組みの中で

この5日間、参加者はトレーニングに集中して積極的に学びました。講師やほかのスタッフとのコミュニケーションの中で、どん欲に知識を吸収しようとしている姿が印象的でした。講師の皆さんも非常に喜んでくださり、一体感のなかで無事に5日間のスケジュールを終えることができました。ふと思ひ出します。参加者の多くが、かつては当グループでクライアントであったことを。今、それぞれがマイナス10から回復し、新たなプラス10を目指しているワンネスの生きる証です。ただ回復するだけではない、その先の新しい道を専門職という形で提供したいとこだわってきたワンネスグループのモットーが、確信になった5日間となりました。彼らが今後、さらに輝いてくれるであろうことをうれしく感じています。



Report

3月3日~5日



Seagulls Village

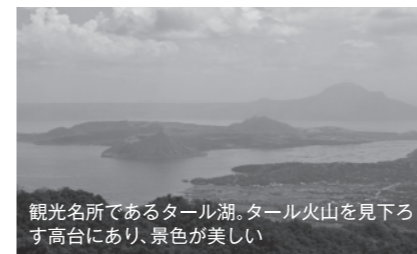
(シーガルビレッジ)



フィリピンの依存症治療共同体、 『シーガルビレッジ』を 視察しました。

ICCE(国際アディクションカウンセリング専門職認定教育センター)のご縁で関係を深めていた、フィリピンの依存症治療共同体『シーガルビレッジ』へ、3月上旬、矢澤代表を含むワンネススタッフ4名が視察に訪問しました。たくさんの勇気や希望をいただいた視察についてご報告します。

フィリピンの首都、マニラ市から車で1時間半ほどにある『シーガルビレッジ』は、避暑地で有名なタガイトイ市にあります。タール湖を見下ろす、開放感があって気持ちのよい風光明媚な場所で、依存症で傷ついた心を癒



観光名所であるタール湖。タール火山を見下ろす高台にあり、景色が美しい

してくれるやさしさのある場所でした。施設代表のエディー・カスティエーヨさんは、アジア治療共同体連盟で前会長を務められていた方です。ご自身もドラッグとアルコール依存症から42年のクリーンを持続されています(奥さまのテレシタ・カスティエーヨさんは、左ページで紹介したICCEのトレーニングで講師として来日してくださいました)。「シーガルビレッジ」の開設は1998年。エンカウターグループを中心とした心理療法プログラムや、施設の仕事を入所者やスタッフが分担し、お互いに助け合って生活するスタイルなど、ワンネスグループと似通った部分が多く、我々の先輩施設として勉強させていた

クラフト感のあるアットホームな雰囲気 ウェルカムライブで迎えてくれました



クラフト感のあるアットホームな雰囲気



ウェルカムライブで迎えてくれました



シーガルビレッジ代表のカスティエーヨ夫妻、スタッフの皆さんと一緒にいただきました。滞在中にはそれぞれのメンバーが参加して、お互いの特徴的なプログラムを紹介するミニフォーラムを設け、理解を深めました。フィリピンは日本と同じアジア圏の国ですが、アメリカとの関係性が深いこともあって、依存症治療については先進国のアメリカのノウハウが多く導入されています。短・中期的な目標として、シーガルビレッジからたくさんのことを学ばせていただきました。



お互いのプログラムを紹介しあったミニフォーラムの様子

今回の訪問の成果はもうひとつ。シーガルビレッジとワンネスグループが姉妹施設として応援、協力しあい、ともに発展を遂げたいこうと約束を交わしたことです。近い将来、お互いのプログラムを交換したり、スタッフが交流したりすることも考えられるのではないかとワクワクしています。これからも世界に目を向け、共感できる海外の共同体との交流を通して、効果的なプログラムを日本でシェアできるよう、またワンネスで培ってきたノウハウを世界に向けて発信できるように行動していきたいと感じました。



シーガルビレッジのプログラムを見学

Information 1

沖縄にハイクラスの依存症回復施設 『THE ONENESS PLACE』 が誕生。

この度、ハイクラスの依存症回復施設『THE ONENESS PLACE』が、青い海と青い空に囲まれた自然豊かな沖縄の地にオープンいたしました。これまでよりさらにグレードの高い上質な空間と設備を用意し、さらに世界レベルで活躍されているマスターから学んできたプログラムを提供いたします。心と身体を多面的にトータルにとらえ、人間科学に基づいたメソッドで回復への道を歩むことが可能です。

既存のワンネスの施設にも、日本では群を抜いた環境とプログラムをご用意しています。それでも回復につなげることができず、依存症に苦しんだままの富裕層や著名人の方が多くいらっしゃいます。そのような方をお迎えできる準備を整えることができました。この場所で起こる新たな出会いに期待しています。



依存症回復施設『THE ONENESS PLACE』
〒901-1513 沖縄県南城市知念字知念428-7
(問合せTEL:098-951-3865)

Topics② ワンネスグループ内に『ダイバージョンセンター』を新設!

ダイバージョンセンターは違法薬物依存やギャンブル依存による横領や窃盗事件、窃盗行為依存など、依存症が原因となって触法行為をくり返してしまう方を適切な治療へと導くことを目的に、弁護士の菅原直美先生をセンター長に迎えて、今年4月に開設されました。違法行為の中に潜む依存症は、まだまだ注目されていませんが、ダイバージョンセンターの活動が広く司法の現場に広がり、再犯に苦しむ方を救うことができると願ってやみません



◎センター長あいさつ 菅原 直美(弁護士) 治療的・回復的司法の実践を目指して

この度、私はワンネスグループが新設する「ダイバージョンセンター」のセンター長に就任させていただきました。「アディクト」と呼ばれる依存症に苦しむ方には、刑事手続きの中で処罰されてしまう方が少なくありません。たとえば窃盗行為に依存されている方(クレプトマニア)や、ギャンブル依存症が関係している横領や窃盗事件、飲酒が関係する様々な事件、違法薬物に依存されている方などがあげられます。

依存症に苦しむ方にとって、罪を犯す主な原因は「依存症(アディクション)」という病気です。再犯防止にとって、依存症の治療は必要不可欠となります。もっとも、従来の刑事手続きではこの点が見過ごされたり、軽視されたりしてきました。たとえば意志の弱さゆえに犯行をくり返すと言われ、重い処罰を受けることもありました。アディクションは刑務所での服役やその他の処罰のみでは回復しません。ですから、多くのアディクトは服役後も同種の犯罪をくり返す人生を歩まざるを得なかった現実がありました。

今回新設するダイバージョンセンターでは、アディクトが治療につながらないまま再犯を繰り返す悲劇を防ぐため、効果的で実践的な弁護活動を行います。特に私が専門としている治療的司法・回復的司法(セラピューティック・ジャスティス)という理念に基づき、罪を犯す原因となったアディクションの治療や心のケアについて、医師やカウンセラーやワンネスグ

ループの各施設と連携するとともに、その治療の必要性や効果について、刑事手続きのなかで検察官や裁判所に訴え、適切な判断を求めます。また、日本にはまだ存在しないドラッグコート(薬物依存に関する専門的裁判機能で、海外では多くの国で導入されている制度)の機能を、現行制度の中で実現できないかの研究や実践も行います。アディクトが社会のなかでまた笑顔や希望を取り戻すために、刑事手続きをその「生き直しの場」にすることがダイバージョンセンターの目的です。ご自身の問題、ご家族の問題、どちらでも構いません。どうぞお気軽にご相談ください。

菅原 直美先生 経歴

1978年北海道生まれ 北海道大学法科大学院卒業
2010年弁護士登録 奈良弁護士会所属
奈良弁護士会刑事弁護委員会委員
奈良弁護士会入りにくく支援PT委員
近畿弁護士連合会刑事弁護委員会委員
日本弁護士連合会刑事法制委員会幹事
受賞歴: 第7回季刊刑事弁護新人賞優秀賞受賞
◎個人ホームページ「セラピューティックジャスティス」
<http://nara-therapeutic-justice.jimdo.com/>



★こんな場合にご相談ください★

- ・刑事事件で勾留の背景に依存症問題の疑いがある場合
- ・起訴〜公判をきっかけに依存症治療につなげたい場合
- ・債務整理の際、本人へ治療をうながしたい場合
- ・その他、依存が背景にあると思われる各種法律問題についての相談

来所による相談をご希望の場合、事前予約が必要。
下記相談ダイヤルへお問合せください。

ワンネスグループダイバージョンセンター
〒635-0065 奈良県大和高田市東中2-10-18
相談ダイヤル:0120-111-351(10:00~17:00)

Information ワンネスが手がけるTV番組

『あした笑顔になあれ』がスタート!!

~We hope that you are laughing tomorrow~



ケーブルテレビ J:COM TVにて
毎週月曜14:00~14:15/木曜22:30~22:45
※4~5月放送スケジュール

ワンネスグループではひとりでも多くの方に、依存症について、またグループの取り組みについて、広く知っていただく活動を続けています。この度、ご縁をいただいてケーブルテレビ「J:COM TV」にて、依存症についての専門番組がスタートしました。依存症の基礎知識や、回復に役立つ情報、グループの活動などについて、代表の矢澤や専門家の先生方とともにお伝えしています。今、社会的な問題として関心の高まりを感じる各種依存症について、早期発見、早

タイトルには、明日が今日より少しでも笑顔になるように、その積み重ねが依存症からの回復につながるの思いを込めています。ワンネスの新しい取り組みにご期待ください。

期回復に貢献できればと思っております。現在は関東20局に放送が限定されますが、視聴できない地域でも、後日、番組内容をインターネット上で公開いたしますので、ご覧いただくことが可能です。準備が整い次第、ワンネスグループホームページやニュースレター、メールマガジンなどでお知らせいたしますので、ご覧ください。



※J:COM TVで視聴可能なエリア
足立局/東京北局/板橋局/東京 東エリア局/葛飾局/東京 南エリア局/すみだ・台東局/中野局/港・新宿局/江戸川局/世田谷局/大田局/調布局/武蔵野・三鷹局/西東京局/東京 西エリア局/日野局/多摩局/八王子局/町田・川崎局(計20局)

Topics③ セレニティパークジャパン 開設5年目のメッセージ



◎代表あいさつ セレニティパークジャパン代表 三宅 隆之(精神保健福祉士)

SPJは5年目を迎えました

平素より大変多くの方々にご支援いただき、スタッフ一同、心より感謝申し上げます。私ども「セレニティパークジャパン(SPJ)」は、2011年の春、ワンネスグループの原点である奈良よりスタートしました。ギャンブルやアルコール依存症を中心とした回復支援、社会復帰支援を手掛け、本年4月1日、開設5年目を迎えました。ご利用いただいた方は約200名を数え、回復後、再び社会参加を始めたOBによる「卒業生の会」も立ち上がり、兄弟法人の「セレニティパークジャパン沖繩」、直接運営を担う「セレニティパークジャパン名古屋」の開設など、活動の幅を広げてまいりました。開設当初は施設運営経験に乏しかったために右往左往することも多く、グループ代表の矢澤をはじめ、多くのスタッフに、業務やプログラム提供のノウハウを昼夜問わずに教えてもらったことを思い出します。

当事者性と専門職性を財産に

ギャンブル依存症は薬物やアルコール依存症と比べて、相談窓口や回復のための社会資源が圧倒的に少ないのが現状です。開設当初は、医療の現場でも「ギャンブル依存症は病気だ」という認識が薄かったため、ほんの少しでもギャンブル依存症の理解を広めたい、より広くより遠くへもサポートを届けようと、職務に励んできました。支援スタッフには、過去、ギャンブルが止められなかった苦しみと、そこから脱却し、健康でチャレンジ精神に溢れる生き方を手にした希望との、両方の経験があります。この当事者性は、セレニティパークジャパンにおける財産であり、「自分らしい今を生きる」という希望に満ちた経験は、利用された方の多くにも訪れています。また利用者だった方が回復し、その後、支援スタッフとして、専門職のスキルアップに日々努力を続けていることも財産です。

セレニティパークジャパン スタッフコメント

大田 宏充(ラリー・ゲインズケアセンター ディレクター)

セレニティパークジャパンも開設から5年目を迎えることができました。これも皆様からのご支援の賜物だと感謝しております。我が法人は依存症業界の牽引と、より多くの苦しんでいる家族と当事者のために邁進して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

池田 充 依存症から回復すれば、まだまだ人生は捨てたものじゃない。一人じゃどうにもならないことも仲間が居ればなんとでもなる。自分の人生を歩みませんか? そのお手伝いをさせていただきます。ともに回復を。

梅井 将馬 私はSPJでクライアントとして回復プログラムに取り組んでいました。そして回復を果たした今、スタッフとしてもらったものを恩返ししようと思っています。SPJでは仲間とのかわりの中でたくさんの愛をもらえました。この場所を守ることができるよう努力してまいります。

現在「セレニティパークジャパン」を運営するスタッフ。写真左より池田充、梅井将馬、大田宏充、真篠剛、三宅隆之、手島秀孝、船本真弓。開設当初に矢澤代表から贈られた「神鷹一座」の提灯を手に



SPJとしてのチャレンジの数々

そのような中、IR(カジノを含めた統合型リゾート)推進法案の議論が高まり、昨年8月には、厚生労働省の研究班が、国内でギャンブル依存症の疑いがある人の推計を536万人と発表しました。ギャンブル依存症にこれまでにない注目が集まり、SPJも多くの取材に対応しています。私たちはカジノ導入やギャンブルの存在自体の是非以前に、現に依存で苦しむ人やご家族が多くいる現状を踏まえ、借金問題や触法行為などの深刻で不可解な側面だけでなく、依存症の早期発見、早期回復、再発防止を伝えることこそが重要であると考えて取り組みを続けています。

昨夏、米国フロリダ州オーランドで開催された全米問題賭博協議会(NCPG)に初参加し、ギャンブル依存症の回復支援の最先端に触れ、専門施設の方との交流をスタートさせることができました(現在、NCPG会員となっています)。また、国際ギャンブルカウンセラー認定協議会(IGCCB)代表のロリーン・ルーゲル博士(メリーランド大学医学部問題賭博センター)とは会談を行い、日本国内でギャンブル依存症のカウンセリングに関する専門的資格(NCGC)のトレーニングを行うこと、IGCCBの日本窓口をワンネスグループ(日本認定アディクションカウンセラー協会)で行うことなどで合意し、日本のギャンブル依存症対策の新たな一歩が踏み出されました。昨秋から続いておりますトレーニングでは専門知識だけでなく、ギャンブル依存に陥る人のタイプやタイプごとの支援スキル、これまで現場で感じていたことを理論的に整理していただき、その上に新しい情報を追加していただきました。今夏もNCPGに参加予定で、「日本におけるIGCCB導入」についてプレゼンテーションを行うことになっています。

また、全国各地で「依存症を知るセミナー」「ギャンブル依存症回復セミナー」と題して、依存症の理解を深める活動を展開し、各地の専門家の先生方や、自助組織の方などにご講演いただくなど、地域連携や他機関連携についても努力を続けており、さらに今年より活動をスタートしましたギャンブル依存症ソーシャルワーカー協会との連携を深めています。

「マイナス10からプラス10」を目指して

ギャンブル依存からの回復…、そのスタイルは百人百様でしょう。過去、自身の力では止められなかった事を止める、その勇気を持った行動自体が素晴らしいことです。私自身もその一人です。依存症の先にある自身の人生を、心の底から喜びをもって過ごすことができる。様々な事を乗り越え、成長を続けていく事ができる。ワンネスグループが掲げる「マイナス10からプラス10への人生の転換」という理念そのままに、セレニティパークジャパンは、より良質なプログラムを提供できるよう「専門職性」を磨き、さらには苦しむ人たちと同じ目線の「当事者性」をいつも心にとめながら、これからも努力を続けてまいります。今後も、ご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

真篠 剛 コトバを贈るとき、私の中にはコトバになる以前の声があって、その声になる以前の音(ノイズ)がたくさん詰まっています。そんな「からだの音」を感じ、聴き、発掘し、研ぎ、奏でさせてくれる冒険心溢れるステージ。さて、次はどんなLIVEになるのだろうか。楽しみです。

手島 秀孝 SPJ開設から5年目、自分自身もお世話になり、自分の回復もここから始まりました。ここには仲間の絆があり、愛があり、幸せがあります。これからは助けてもらった分を仲間に戻すことが自分の回復だと思っています。

船本 真弓 SPJとともに4年。依存症は簡単な病気ではないと、何度も感じるがありました。それでも回復はたくさんあります。これまでたくさんの奇跡を見てきました。5年目も私ができることをやっつけていきたいと思います。



デイケア内だけではなく、地域の社会資源を利用してプログラムを行います。(写真は、奈良市内の寺社でのプログラム風景)

《ボイス》 卒業される方、回復された方、Voice 家族の方からメッセージ。

卒業される方より

依存症からの回復は、日々新たなチャレンジの連続とも言えます。グループの各施設で頑張る仲間たちの姿は、希望のメッセージとして他の仲間たちを勇気づけます。この春、ワンネスグループを退職して、自身の望む方向へと新たなチャレンジを始めた上元裕二さんに、卒業生の声を寄せていただきました。

この春、ワンネスグループ(セレニティパークジャパン)を退職し、音響の仕事に復職することになりました。昨年の秋頃から再び音響の仕事に就きたいという気持ちが大きくなり、この春決断しました。私が薬物依存症でガーデンに入所したのは、今から3年半前の9月8日です。まだ薬が効いていて現実と妄想の区別もつかない程にヨレていましたが、両親に連れられてデイケアに到着し、入所の説明を受けることで、ここが依存症の回復施設だと知り、漠然とですが安心感を覚えた記憶があります。それくらい当時の僕は薬を使う事にも疲れきっていたのだと思います。笑う事も怒る事も出来ませんでした。ネガティブな感情が嫌でそれを感じなくするために薬を使い続けていました。そうするうち、いつのまにか心の底から笑えなくなっていました。インターネットで同級生や元同僚が華やかな人生を送っているのを見て、自分と比較して惨めな気持ちになりました。

回復された方より

薬物を使い続け、罪悪感と後悔を抱えて生きづらくなってしまった人生でしたが、施設のプログラムの中で癒されました。正直になり、自分の感情に取り組むことで、自分と向き合う大切さをあらためて教わりました。

(30代男性)

今までずっと自分のことが大嫌いで、自分は生きている価値のない人間、こんな自分を愛してくれる人なんて誰一人いないと思っていました。けれども、施設に来て、自分のことを愛してくれる人が沢山いることを知りました。

(20代男性)

10年近く薬物を使い、同じ過ちを繰り返して来ました。そして自分を見失い、人を傷つけ、ボロボロになってガーデンに辿り着きました。ガーデンに来て1年、今、仲間の中で笑える自分が大好きになりました。

(30代男性)

家族の方より

小さい頃から素直で、反抗もせず、親が喜ぶことを知っている子でした。親の言う通りに育ち、就職してからも人一倍頑張っていた息子の、辛い気持ちをわかっていませんでした。過大な期待をかけず、もっと楽に自分の思うようにさせてあげていればよかったと思います。

(50代女性)

はじめは、本人も家族も市販薬の薬物依存症とわかりませんでした。ワンネスグループの施設にインタベンションしてもらい、入所しました。依存症を通して、親子関係のあり方を根本的に考え直すきっかけとなりました。

(50代女性)

息子が薬物依存症と知り、「生きづらさ」の結果として覚せい剤に助けられていた事実に向き合わされました。親として情けなくもありますが、初めて本当の息子を理解できたと思います。

(50代男性)

《ボイス》 家族の方からメッセージ。

ガーデンでは様々なプログラムに取組み、なかでも12ステッププログラムの「埋め合わせ(過去の生き方のなかで傷つけた相手に対して、謝るなどの埋め合わせを行う)」を終えた後、色々なものが僕の元に戻って来ました。それまでずっと罪悪感がある生き方をしていたので、いつもビクビクしていました。埋め合わせができたことで、今まで感じたことのない解放感を味わえました。自分がしてしまったことが原因で疎遠になってしまった人とも、再び連絡を取れるようにもなりました。

15カ月のプログラムを終えた時、施設に残って働かせて欲しいとお願いしました。再び薬を使うことが恐かったからです。仲間のサポートをしながら2年、3年のバースデーを迎えられました。神経が研ぎ澄まされていくような感覚を覚えました。気候によって体調や精神状態が左右されるようになりました。先行く仲間が「グリーンになった証拠だよ」と言ってくれました。今でも薬を使う夢を見ます。疲れている時や不安がある時です。自分の事が少しずつ分かるようになりました。でもそれは自分の力でそうなった訳ではありません。この3年半、いつも仲間が側にいました。いつも仲間から力をもらってきました。過去、自分は一生薬を使いながら生きていくしかないと思っていました。でも今は、止め続ける事ができると信じています。

上元 裕二

仕事や人間関係が崩壊し借金も…。それなのに自分で死ぬことも出来ない。人としての尊厳などない毎日でした。当時の私には施設を利用するお金すらありませんでした。しかし、生活保護制度によりプログラムを受けることができ、依存症から解放されました。

(30代男性)

私の人生は全て逃げでした。処方薬、酒、買物、男性、親に逃げることで現実の自分を見ないようにしてきました。今はガーデンで仲間にも助けてもらいながら、自分自身と向き合っています。その勇気をくれたのは仲間からの無償の愛。仲間の愛に守られて新しい自分に出会えました。

(40代女性)

自分の薬物依存症という病気の深さを知り、社会では到底生きられないと思っていた時、施設から農業をやってみないかと声をかけてもらったことを、まるで昨日のこのように思い出します。少しでも楽しく生きられるように自然と触れ合い、共に生活し、そこから生きるヒントを見つけ出す。失敗や挫折、絶望から学び、何ごととも無駄にしないのが、くらの里農園です。

(50代男性)

息子は何の問題もない立派な社会人であり、将来は家族を支えていくのだと期待をかけつけてきたことが、実は親の一方的なエゴだったのだと気づきました。本当の彼の苦しみに、真正面から接してあげられなかった後悔が残ります。親である我々は依存症の前に無力だと思えます。

(50代女性)

息子がアルコールと危険ドラッグの依存症になり、インタベンションによって施設に入りました。逃げ帰ってきたらどうしようと不安もありましたが、スタッフや仲間の方々に助けられて人間的な絆を深めているようです。家族であっても、お互いの人格を尊重し、自立して生きなければならぬことを学びました。

(50代女性)

Information2

臨床心理士加藤力がサポートする 依存症者を抱える家族のための ワンネスファミリーグループ

東京セミナーがリニューアル＆新たに横浜でスタート

依存症からの回復には本人はもちろんのこと、そのご家族のケアやサポートが欠かせません。本人が適切な治療へと向かい、問題の中で傷ついた家族が癒されること、また家族や親子の関係性を見つめなおし、家族そのものが再生することが必要とされています。ワンネスグループでも重点的に家族支援に取り組んでおり、臨床心理士で本部スタッフの加藤力がサポートする「ファミリーグループセミナー」もわかりやすいとご好評いただいています。この度、東京セミナーが会場を新たにリニューアルし、また横浜でも新規にスタートすることとなりました。依存症の治療には専門家の助けが必要です。お気軽にご参加ください。またお知り合いの方で依存症に悩まれている方がいらっしゃる場合も、ぜひ知らせてあげてください。私たちはご家族の安心をサポートします。



5月よりリニューアル!

東京セミナー ※会場と時間が変更

5月16(土)、6月13日(土)、7月25日(土)、8月15日(土)
13:30~17:00

フォーラムミカサエコ8階ホール(千代田区内神田1-18-12)

交通 / JR線神田駅西口より徒歩5分
東京メトロ銀座線神田駅4番出口より徒歩5分
東京メトロ丸の内線淡路町駅A2・A4番出口より徒歩5分

新たにスタート!

横浜セミナー

5月17日(日)、6月28日(日) 13:30~17:00

男女共同参画センターフォーラム南太田(横浜市南区南太田1-7-20)

交通 / 京浜急行線南太田駅下車徒歩3分
横浜市営地下鉄吉野町駅下車徒歩7分

参加費(両会場ともに) / 2人までの参加3000円、3名(家族など)以上で参加5000円

※参加希望の方は事前登録にご協力ください。登録なしでも参加可能。

問合せ / ワンネスグループ本部 TEL0745-24-7766 info@oneness-g.com



前回のセミナーの様子

★依存症家族の会へご参加ください★ 《開催会場》青森・東京・大阪・奈良・三重・和歌山・沖縄

ワンネスグループでは、加藤力先生によるファミリーグループセミナーのほかにも、東京や奈良、沖縄をはじめ、各地で家族の会を主催しています。また現在、活動は拡大中で、家族の会が開催できる地域も増えつつあります。各会場ではワンネスのスタッフが、依存症治療についての話をしたり、家族のサポートやご相談に乗らせていただいたりしています。ご家族で悩まずにぜひ一度、会場へお越しください。気持ちがきっと変化することと思います。全国にワンネス家族の会のネットワークが広がり、ひとつでも多くの家族が笑顔を取り戻せるようにサポートさせていただきます。詳しくはニュースレター裏面のイベント情報を参照ください。

NEWS

第1回アディクションリサーチ&セラピー ASEAN会議を共催し、ワンネス代表の矢澤がスピーチします!

タイで5月5日(火)~9日(土)に開催される国際会議「第1回アディクションリサーチ&セラピー ASEAN会議」をワンネスグループが共催しています。依存症の研究や治療に携わる専門家や大学、政府や民間団体、治療施設などが一堂に会し、結びつきを築くこと、またこの分野をけん引する科学者や研究者、政策立案者らに情報を提供し、新たな展開をサポートできる体制を作ることを目的にしています。期間中、ワンネス代表の矢澤が日本の依存症の現状と、私たちの活動についてスピーチを行います。前号のニュースレターでも少しふれましたが、タイのマヒドール大学プラバパン・チュチャルーン教授からの呼びかけに応

えたもので、教授はタイのトップランクの医学系大学で神経科学を教えられている研究者です。またワンネスでも昨年12月にセミナーを開催したローランド・ウィリアムズ氏とも関わりの深い方で、ご縁を感じています。このような立派な会議に呼んでいただけることは光栄です。ワンネスのスタッフやクライアント、サポートして下さっている方の代表として、しっかりと話してこようと思っています。私たちの活動が、世界に向けて発信できることが、皆さまの励みになることと信じて。また次号のニュースレターでは、会議の様子もご報告させていただきます。それでは行ってまいります!!